

環境報告書 2024

はじめに

この報告書の対象期間は、2024 年度(2024 年 8 月～2025 年 7 月)です。

環境方針

当社は、環境マネジメントシステムを品質マネジメントシステムと統合しており、「品質・環境統合方針」として定めています。

品質・環境統合方針

当社は、高度な品質とアフターサービスで顧客に応えるとともに、環境保全に積極的に取り組み、風格ある会社として存続することを目指します。

そのために社員は、品質向上と顧客満足ならびに環境への貢献に向け以下のように取り組みます。

1. 法令に加えて適用される要求事項を満たします。
2. 製品・サービスの質の向上に努めます。
3. 業務のムダを無くし、生産性の向上に努めます。
4. 製品のライフサイクルにわたる環境への影響を配慮した設計・開発に努めます。
5. 省エネルギー・省資源・廃棄物削減・グリーン調達の推進に努めます。
6. 企業活動に伴う汚染を予防します。

当社は、上記に関連する目標を設定し、各部門に活動を展開します。

統合マネジメントシステムを確立し、継続的に改善し、確実な運用及び維持に努めます。

環境目標とパフォーマンス

当社は、「前年度比 1.0% 削減」を目標に定め、電力使用量、用紙使用量、廃棄物量の削減に取り組みました(データは 2025 年 7 月末時点です)。

1. 電力使用量

前年度比で 0.5% 削減しました。内訳として、目黒本社は 0.9% 削減しましたが、横浜事業所は製品出荷台数増により電力使用量が 1.2% 増加したことによるものです。なお、両地区とも例年になく猛暑日の影響により、冷房に費やす電力使用量が増加しました。

2. 用紙使用量

前年度比で 5.5% 削減しました。ファイルサーバーの整理活用とペーパーレス会議の利用促進が図られたことによるものです。

3. 廃棄物排出量(目黒本社は重量、横浜事業所は袋数)

前年度比で、目黒本社は 18.3% 削減し、横浜事業所は 15.5% 減少しました。前年度は 5S 活動の一環で不用品を大量廃棄しましたが、今年度は通常の廃棄物量であったため大幅に削減したように見えています。

環境に配慮した取り組み

当社は、環境に配慮した製品づくりや事業活動に取り組んでいます。

1. 環境に配慮した製品づくり

1.1 水銀を使わない通風型乾湿計の開発

従来のアスマン通風型乾湿計は、ガラス製温度計に水銀を使用していましたが、白金(Pt)を使用した温度センサーに置き換えることで、水銀フリーを実現しました。



Pt アスマン/通風型乾湿計 JS-410

1.2 自己発電式無線風速計の開発

自然エネルギーを利用し風速計の無線送信用外部電源を不要にしました。

2. 環境に配慮した事業活動の取り組み

2.1 化学物質の管理

当社は、業務に使用する化学物質の取り扱い、保管、廃棄を、法規制以上に厳しい自主基準に基づいて管理しています。

2.2 社用車のエコドライブの推進

当社は、「アイドリングストップ」シールを運転者の目につく場所に貼るなどエコドライブを啓発しています。また、横浜事業所では社用車の燃費を毎月監視しています。

2.3 クールビズの実施

当社は、クールビズの実施期間を設定せず、通年で気温に応じた服装での勤務を奨励し、空調温度も特に推奨値を定めず、地球環境保全や省エネルギー対策に貢献しています。

2.4 緊急事態への取り組み

社員の防災意識の向上を図ることと万一の災害に対応できるよう、火災や地震を想定した緊急事態への対応訓練を毎年実施しています。

以上

ANEOS 株式会社

2025 年 9 月 24 日

代表取締役社長

野澤 裕